

2025 年度入試
「大学院入試」
経済学研究科
博士課程後期

出題意図
「論文」

- ・ 試験科目については、入学試験要項等を参照してください。
- ・ 出題意図に関する質問や問合せには一切回答いたしません。
- ・ 志願者がいない科目については、公開しておりません。

出題意図

入試制度名称	大学院入試 I 期
試験日	2024年10月5日

問	内容
総論	本試験は、博士後期課程に進学するうえで前提となる、学部中級レベルから博士前期課程修了程度までのミクロ経済学・マクロ経済学の基礎知識と理解を問うことを目的としている。あわせて、基本的な理論や概念を用いて、図示や論理的説明を適切に行う力も確認することを意図した。
1	消費者行動理論の基礎的理解を問う問題である。予算制約の定式化、効用最大化問題の解法、限界代替率の理解、価格変化に伴う最適消費の変化、および需要の価格弾力性の把握を通じて、ミクロ経済学の基本概念を正確に運用できるかを確認することを意図した。さらに、無差別曲線と予算線を用いて経済学的直観を適切に説明できるかも評価の対象とした。
2	ソロー型経済成長モデルの基礎的理解を問う問題である。貯蓄率の上昇が労働者一人当たり資本ストックの動学や新たな定常状態に与える影響を、モデルの枠組みに即して説明できるかを確認することを意図した。あわせて、与えられた変数や関数を用いながら、成長理論の基本的メカニズムを論理的に記述する力を評価することを目的とした。

出題意図

入試制度名称	大学院入試Ⅱ期
試験日	2025年2月8日

問	内容
総論	本試験は、博士後期課程に進学するうえで前提となる、学部中級レベルから博士前期課程修了程度までのミクロ経済学・マクロ経済学の基礎知識と理解を問うことを目的としている。あわせて、基本的な理論や概念を用いて、図示や論理的説明、ならびに基礎的な計算を適切に行う力も確認することを意図した。
1	政府による価格規制が市場に及ぼす影響について、需要曲線・供給曲線を用いた部分均衡分析の基本的理解を問う問題である。最低賃金制度を例として、市場均衡からの乖離、超過供給や失業の発生、余剰や社会的損失への影響などを、経済学の基本概念を用いて説明できるかを確認することを意図した。
2	コブ=ダグラス型生産関数を前提としたソロー経済成長モデルの基礎的理解を問う問題である。規模に関する収穫、限界生産物、生産要素価格、自然災害による資本ストック減少の影響、および一人当たり資本ストックの成長率などについて、計算と論理的説明の両面から理解しているかを確認することを意図した。モデルの前提を踏まえ、数量的な処理と経済学的な解釈を適切に行う力を評価することを目的とした。